

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# CapelRI+Bevacizumab 療法

3 週毎      コース予定

疾患名      大腸癌

主治医      指導医      HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

スケジュール

《注射》		day1	
ベバシズマブ	7.5 mg/kg	↓	
イリノテカン	200 mg/m <sup>2</sup>	↓	
《内服》		day1(夕)	day15(朝) 《7 日間休薬》
カペシタビン	1600 mg/m <sup>2</sup>	↓ . . . . . ↓	←————→

- 【注意】 \*ベバシズマブの点滴時間は初回投与時は 90 分かけて点滴静注、2 回目の投与は 60 分間で行ってよい。それ以降は忍容性が良好であれば、30 分間投与でもよい。
- \*UGT1A1 遺伝子多型がホモ型、\*6/\*28 のダブルヘテロ型ではイリノテカンの投与量は 150 mg/m<sup>2</sup> とする。
- \*必要時 化学療法開始前日から半夏瀉心湯 7.5 g 3×毎食前 内服開始  
 または 重曹 1.8 g 3×毎食後 内服 4 日間
- \*イリノテカン使用前に腹痛・下痢がないことを確認する。

カペシタビン

体表面積に応じて右表により  
1 日量を決定する。

体表面積	1 日用量
1.31 m <sup>2</sup> 未満	1,800 mg/day
1.31 m <sup>2</sup> 以上～1.69 m <sup>2</sup> 未満	2,400 mg/day
1.69 m <sup>2</sup> 以上～2.07 m <sup>2</sup> 未満	3,000 mg/day
2.07 m <sup>2</sup> 以上	3,600 mg/day

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day1

- ① 生食 500 mL にて血管確保
- ② パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注
- デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

CapelRI+Bevacizumab 療法

③ ベバシズマブ + 生食 適量 (全量 100 mL) 点滴静注(90 ~ 30 分)

④ イリノテカン + 5 %ブドウ糖 500 mL 点滴静注 90 分(333 mL/時間)

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼 内服

day 1(夕) - 15(朝) カペシタビン 2×朝・夕食後 内服

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
イリノテカン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
イリノテカン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				